



お知らせ

記者発表資料
配 布 日

平成29年 8月25日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ

岡山の川ってどんな川？ 川のいきものを調べてみませんか！

～吉井川水系金剛川で小学生による『水生生物調査』を実施します～

岡山河川事務所では、小学生のみなさんに参加して頂き、河川の水生生物調査を実施します。

水生生物調査とは、川底の生物を採取し、その種類や数により、簡易的に水質を判定するものです。

記

日 時：平成29年8月30日(水)9:45～

※7月5日【予備日7月7日】で予定していましたが、降雨の影響により延期しました。

調査地点：金剛川宮橋下流右岸付近（金剛川水辺の楽校）

参加学校：和気町立本荘小学校4年生 49名（予定）

＜水生生物調査とは？＞

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、昭和59年から小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただいています。

水生生物調査は、河川と親しみながら調査することで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

※荒天時、河川の水かさが高い場合は中止または延期することがあります。

※取材を希望される際は事前に下記問い合わせ先にご連絡下さい。

※昨年度の調査結果は、金剛川・宮橋は「Ⅱややきれいな水」でした。

＜問い合わせ先＞

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
TEL (086)223-5189(河川環境課)
FAX (086)234-2298

【担当】

副所長(技術)

しもやま
下山 茂 (内線205)

河川環境課長

おおち
大知 寿徳 (内線361)



《調査位置図》



《昨年の調査状況》



水生生物調査の概要

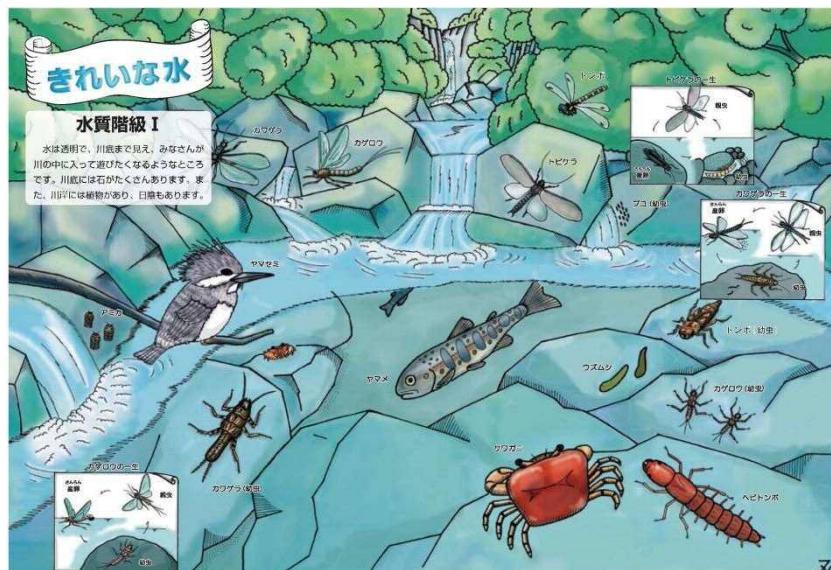
川底にどのような生物が住んでいるかを調べることにより、河川の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。そのため、国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年度から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という。）をはじめています。

この水生生物調査は、適切な指導のもと、誰にでも簡単にできるようになっています。

調査方法

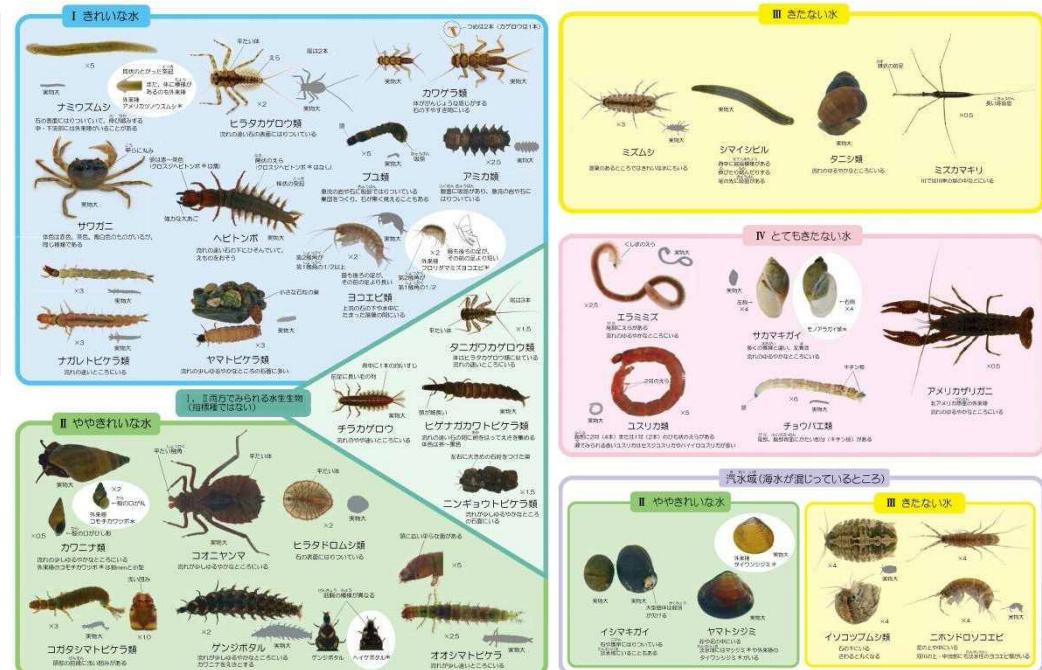
本調査では、水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質の指標性が高い29種を指標生物としています。

水生生物を採集して、指標生物を分類し、地点毎に、階級I（きれいな水）、階級II（ややきれいな水）、階級III（きたない水）、階級IV（とてもきたない水）の4階級に分けて水質を判定します。



国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」より

水質階級と指標生物



階級I（きれいな水）の生物

ナミウズムシ	サワガニ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類
ヒラタドロムシ類	ナガレトイビケラ類
ヤマトイビケラ類	ブユ類
アミカ類	ヨコエビ類

階級II（ややきれいな水）の生物

カワニナ類	コオニヤンマ
コガタシマトイビケラ類	オオシマトイビケラ
ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
○ヤマトイシジミ	○イシマキガイ

階級III（きたない水）の生物

タニシ類	シマイシビル
ミズムシ	ミズカマキリ
○ニホンドロソコエビ	○イソコツブムシ類

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物